



令和7年4月30日

【プレスリリース】

公益信託世田谷まちづくりファンド

2024 年度 日本都市計画学会賞 石川賞を受賞しました。

一般財団法人世田谷トラストまちづくりは、区民主体による良好な環境形成及び参加・連携・協働のまちづくりを推進し支援することにより、自然環境や歴史的・文化的環境を保全した美しい風景のあるまちの実現、安全に安心して生き活きと住み続けられる共生のまちの創出、居住環境を魅力的に守り育む活動とコミュニティの形成に寄与することを目的としています。

公益信託世田谷まちづくりファンドは、1992 年から始まった、区民主体のまちづくり活動を支援する助成事業です。公益信託という中立的な資金支援のしくみに加えて、当財団が助成グループの活動をサポートしてきました。また、まちづくりファンドの運営には、助成グループの卒業生を含めた多くの方々に関わっていただきました。このような取り組みに対し、評価をいただきました。

公益信託世田谷まちづくりファンドは、令和7年度より段階的に当財団による『世田谷トラストまちづくり活動助成事業』へと移行します。今回の評価とともにこの考え方を継承し発展させる所存です。世田谷区の間支援組織の立場から、引き続き、市民一人ひとりが自分のまちに誇りと愛着をもち、安らぎと魅力を実感できるみどり豊かな住宅都市の実現に寄与してまいります。

【記】

- 日本都市計画学会賞について

公益財団法人日本都市計画学会が年1回、学術及び技術の進歩に貢献した論文・計画・設計・事業等を対象に、学会賞を授与するものです。

- 石川賞について

石川賞は都市計画に関する独創的または啓発的な業績により、都市計画の進歩、発展に顕著な貢献をした個人または団体を対象としている賞です。

- 受賞内容

作品名 公益信託世田谷まちづくりファンド

受賞者 世田谷まちづくりファンド運営委員会

一般財団法人世田谷トラストまちづくり

三井住友信託銀行

世田谷区



● 授賞理由(外部サイト)

<https://www.cpij.or.jp/upload/file/2024.pdf>

(出典:日本都市計画学会ウェブサイトより)

・公益信託世田谷まちづくりファンドは、1992 年、公益信託制度を用いて設立された基金であり、30 年以上も継続して活動が続けてきた。当ファンドの応募件数は、30 年間(2022 年まで)で延べ 1084 件、助成件数は 866 件にのぼり、助成金総額は約 2 億 3800 万円、助成対象は延べ 433 グループと、市民主体のまちづくりとしての実績・成果は、全国的に見て極めて顕著である。

・特に高く評価される点として、ファンドの仕組みが単に資金を助成するだけではなく、世田谷トラストまちづくりが活動を支援していること、行政と区民だけではなく、企業も寄付という形で参画する包括的な仕組みとなっていること、運営委員にファンドの卒業生が複数関与するようになっており、自分たちが提案した活動の推進に留まらず、広くまち全体のまちづくりに関与しようという人財の発掘・増加にも大いに寄与していることが挙げられる。いわば、我が国のまちづくりファンド、中間組織のモデルとなったと評価できよう。

・近年、全国的に自治体の都市計画が大規模な再開発等に注力されることが多く、市民主体の地域に根差した地道なまちづくり活動に対する公的な関与・支援の動きが、以前に比べて低下している状況にある。しかし、今後、時代のニーズに合わせて生活圏として再生を進めていく必要性が高まっている今、地域に根差したまちづくり活動との連携・協働が必至である。そのためには、公益信託世田谷まちづくりファンドによる市民主体のまちづくりへの継続的な支援活動の重要性・必要性・効果を広く社会において再認識・共有することは、極めて重要である。30 年以上も継続して活動が続けてきた市民主体のまちづくりとしての実績・成果は、全国的に見て極めて顕著である。

【問い合わせ】

一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

地域共生まちづくり課 助成事業担当[風間・松田・菊地・大塚]

Tel: 03-6379-1621 | メール: stm.301@setagayatm.or.jp

【Tel受付時間:平日8時30分～17時00分】